

令和 2年 8月 5日

報道機関 各位

【ご案内】島根大学地域包括ケア教育研究センターが
「感覚・行動経済実験室ラボ」を新規開設

◆本件の概要

島根大学出雲キャンパス第二研究棟の1階に「出雲感覚・行動経済実験室 Izumo Sensory and Behavioral Economics Lab (ISaBEL)」が完成しました。

行動経済学 (Behavioral economics) とは、経済学の数学モデルに心理学的に観察された事実を取り入れていく研究手法で、買い物やギャンブル、投資といった日常生活における身近な経済行動について心理学を交えて分析するリチャード・セイラー教授 (シカゴ大学) が 2017 年にノーベル経済学賞を受賞するなど、注目される学術分野です。

新設したラボでは、学生、学外者等を対象に、食品・食味の実験や購入・購買やリスクに関する意思決定の実験等を行う予定です。食品・食味の実験を行うためのキッチン設備、また、タブレットなどの ICT 機器を整備しており、食品・食味の実験および購入・購買の意思決定やリスクに関する意思決定に至るプロセスなどを詳細にデータ化します。

島根大学地域包括ケア教育研究センターでは、医学と社会科学の融合による教育と研究を進めています。赤井研樹講師を中心に、社会科学的観点から、人々の行動と感覚を探る研究拠点として当実験室を開設しました。官能評価、心理・行動実験、経済実験を併せて実施可能な複合型の実験室として日本で初となります。

今後は、学内はもとより学外の企業・研究機関とともに研究や教育を行う施設として利用を開始します。

また、学内ではオープンな実験室として利用を促進する予定ですので、お気軽にお問い合わせください。

◆概要内容

日時：令和 2年 8月 11日 (火) 13 : 00 ~ 14 : 00

場所：島根大学出雲キャンパス第二研究棟の1階

地域包括ケア教育研究センター長 並河 徹 教授
赤井 研樹 講師

※センター長及び本件担当講師から説明を行います。

◆本件の連絡先

島根大学医学部 総務課企画調査係 今若

E-mail: mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

TEL: 0853-20-2019 FAX: 0853-20-2025

◇その他

地域包括ケア教育研究センターウェブサイト

「【お知らせ】出雲キャンパス第二研究棟に「出雲感覚・行動経済実験室」が完成しました」
<https://www.cohre.shimane-u.ac.jp/docs/2020072700019/>

【添付資料： あり (◆本件に関する写真 2 枚) なし】

◆本件に関する写真



